

第3回 旧豊田貯水池利活用懇談会概要

○ 開催日時

令和2年11月26日 午後1時15分から

○ 会議内容

(1) 中間とりまとめに係る市民意見について → **報告**

資料にて説明

(2) 旧豊田貯水池利活用について → **了承**

資料にて説明

(3) その他

【主な意見等】 ※各意見の大括りは発言内容毎に事務局が整理したもの。

○ 中間とりまとめに係る市民意見について

- ・全体のアンケート回答数に対して気に入った案が半分であり、着眼点やコンセプトに良いと思った人のみしか回答していないのではないか。
- ・厳しいご意見を頂いたと認識している。跡地を、環境に配慮したオープンスペースとして使っていくこと自体に対して合意が図られていない状況であり、一度市民の皆さんの意見をお聞きし、引き続き跡地の利用について検討していくという考えに賛成する。
- ・これで決めるというよりは、一つたたき台をだして市民にグリーンインフラをわかってもらおう、いつかこういうことをやらなければならないタイミングが、準備段階のかなり前の位置づけなのかと考える。
- ・この意見（アンケート結果）を踏まえて私たちがどう検討するかが大事。
- ・社会・まちをつくっていく大人が社会人と考えていて、何もしないのは無責任だし、一方で歴史や街の沿革を後世に引き継いでいくのは大人としての責任だと感じている。今回のプランは、これから大人になっていく若者たちがあの空間をどう使っていかを決められる提案である。
- ・10年後モビリティがかわるかもしれない。そういうことに対応できる、今あるもの（課題）に対応するのではなく 30 年後に新しい時代がきた時に先駆的に郡山市はこんなことをしていたというタイムスパンでの検討が必要。
- ・こおりやまの魅力を、一つ、オープンスペースをつくるグリーンインフラを支えるということが魅力だということで打ち出してみたが、やはり上物を魅力だと感じる市民が多いと思うが、上物なしが良いと思う。ちょっと立ち寄れるくらいの上物は必要。
- ・(アンケート結果は) 市民の意見なので大変重い。ABCに限らずとも折衷案もあるので

はないか。

- ・市民意見を重く受け止めるべきだと考えている。グリーンインフラは総論としては正義だが、使って楽しいのかがわからない。そこを充実させなければならないと考えている。

○ 旧豊田貯水池利活用について（基本方針・利活用イメージ等）

- ・敷地東側の駐車場の中で、地下浸透させるということも可能であり、駐車場自体のグリーンインフラとしての配慮が必要。
- ・若者の使いやすさや教育観点での使いやすさというのはとても良いのではないかと考えている。特に水田が多く作られているので、地元の人と子供の接点があると感じる。
- ・命の循環や食物の循環みたいなものを取り入れたほうがよい。
- ・市民の方が作業をすると、のどが渇くしおなかがすく。最低限、お茶やコーヒー、ここでとれたものを食べられるような機能があると魅力が増すのではないか。
- ・民間企業を呼んで営業していただくという方法も考えられる。いろいろな運営方法があると思うが、市民やNPOベースでやっていくという方法もあるのかもしれない。
- ・多目的広場をつくっても、最終的に活用されなければ意味がない。WEBで自由に予約が取れる仕組みを検討すべき。
- ・市民にできる限り参加いただき、その人たちの拠点となる場所としてほしい。ソフト面も踏まえて検討し、人のアクティビティまでも結び付けた提案ができるとよい。
- ・ウィズコロナ時代の人の集まり方は、屋外で集まる方法がある。そのためには、簡易的に場所を作るための屋根や椅子を用意する必要がある。自分がその場をどう使うかを選択できるような提案ができるとよい。
- ・色々な立場の人が公園管理にかかわっていけるようにすると、若い世代の人たちも取り込んでいけるのではないか。

○ 今後の検討に当たっての意見

- ・当該地の利活用にあたっては、本懇談会で議論した内容や国及び本市の各種法令・計画、当該地を活用した防災や減災の考え方などを基軸としつつ、新型コロナウイルス危機によって顕在化した課題や変化にも対応できるよう市民各層や多種多様な分野からの意見も取り入れながら、更なる調査・検討を行い具体的な整備計画を策定することが望ましい。